

# 会計事務所 200%活用レター

Vol.176 2018.11

このレターは、お客様との最近の面談や、セミナーなどで感じたことをお伝えしています。お時間があるときにでもご笑読頂ければ幸いです。

## 【A I（人工知能）】

「A Iの進化でこの先になくなる職業」のリストに、A Iが最も得意とする計算を活かした「会計処理」があげられています。私たちの業種も生き残りをかけ、厳しい競争がはじまることが予想されます。

そんなA Iが大きく進化する時代ですが、テレビドラマで、人間の体にA I（人工知能）がのっかるという話がありました。これまでの番組では、ロボコップやサイボーグ009の様に人間の心を持っているという設定でしたが、その逆の設定なのです。西島秀俊さんが白バイ警官で、交通事故で脳死になり、その体に警察極秘プロジェクトで、人工知能を移植するという話でした。

A Iなので最初は感情がありません。常に合理的な方を選択し、行動を決定していきます。人間の体は自己防衛のため意識の30%くらいの力しか発揮できないと言われていたのですが、A Iなので「火事場の馬鹿力」がいつでも出せます。そんなA Iが人間との触れ合いの中で、人間の心を学習し、自己犠牲で死んでしまう（体だけ）というストーリーでした。

人間は感情があって当たり前、失敗する、損をするとわかっているけども行動してしまうところがあり、それがあつて反省したり、成長したりまたは人に感動を与えたり、という人生ドラマがあるということを、逆の視点から見せてもらった番組でした。

日々、いろいろ心が揺れますが、いいも悪いも含め、それがあつて人間なんだ～ということを感じ、少し癒された気分になりました。